

## 小規模事業者から大企業まで対応可能な初のハイブリッド SASE

### 1 つのプラットフォームで 4 つの主要機能：

**SWG、FWaaS、ZTNA、アイデンティティを WatchGuard Cloud を通じて提供し、  
あらゆる場所のユーザー、アプリケーション、接続を保護**

**2025 年 11 月 21（金）** - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／セキュア Wi-Fi／多要素認証／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard（R）Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長 谷口 忠彦、以下ウォッチガード）は、FireCloud Total Access を発表しました。本製品はエンタープライズクラスの機能を、マネージドサービスプロバイダー（MSP）や小規模の IT チームでも利用可能なソリューションであり、ゼロトラストおよびクラウド型セキュリティを実用化した初のハイブリッド型セキュアアクセスサービスエッジ（SASE）となります。迅速な導入とシンプルな管理を実現し、セキュア Web ゲートウェイ（SWG）、サービスとしてのファイアウォール（FWaaS）、ゼロトラストネットワークアクセス（ZTNA）、およびアイデンティティ管理を単一のクラウド型管理プラットフォームに統合しており、あらゆる環境で業務を遂行している組織を保護します。

FireCloud Total Access は、クラウドベースで提供されるゼロトラストサービスであり、あらゆるユーザーに場所を問わずエンタープライズレベルのセキュリティを提供します。リモートワーカーをインターネット経由の脅威から保護すると同時に、SaaS、クラウド、プライベートアプリケーションへのシームレスなアイデンティティベースのアクセスを実現します。リモートユーザー向け VPN やハードウェアに伴うリスクと複雑性を排除することで、FireCloud Total Access はあらゆる場所で働く従業員に対して、より高速で安全、かつシンプルな接続性を提供します。

本サービスは既存の FireCloud 製品スイートを拡充し、今年初めに発表された同社のハイブリッド SASE のビジョンを推進するものとなります。

### 大手企業でなくても SASE とゼロトラスト機能が利用可能

これまで、効果的なハイブリッド型 SASE およびゼロトラストソリューションは、主にリソースが豊富な企業に限定されてきました。FireCloud Total Access は、SWG、FWaaS、ZTNA を単一プラットフォームに統合し、WatchGuard Cloud で管理します。このアプローチにより、運用が効率化され、すべてのユーザーにエンタープライズグレードの保護をシンプルに提供し、IT チームがゼロトラスト態勢へ段階的に移行するための実践的な方法をもたらします。

FireCloud Total Access は、ウォッチガードの Unified Security Platform（R）（統合型セキュリティプラットフォーム）の一部であり、単一のセキュリティエージェントを通じて提供され、同社のネットワーク防御、エンドポイント保護、多要素認証サービスとシームレスに統合されています。これらのすべての情報は、ウォッチガードの AI 搭載 XDR エンジン ThreatSync（TM）に送

信されます。これにより、より卓越した相関分析、よりきめ細かい優先順位付け、そしてより迅速なレスポンスが実現します。このように、ウォッチガードを活用することにより、一体となって機能するように設計されたプラットフォームを利用することができ、セキュリティ効果を最大化しつつ、管理するチームの負担を最小限に抑えます。

### ハイブリッド型 SASE で隙間なく保護

ウォッチガードは、中堅／中小企業（SME）向けに、境界ベースの防御から、次世代型の場所を問わないネットワークセキュリティへの移行を牽引しています。組織がクラウドを採用しつつある中、リモート環境やハイブリッド環境における従業員の保護はもはや任意ではなく、機密データの保護と事業継続性の維持に不可欠になっています。FireCloud Total Access はまさに最先端のソリューションであり、リモートユーザーのシームレスな保護を提供すると同時に、機密性の高いオンプレミスのアプリケーションやデータへのアクセスを保護します。また、あらゆる接続環境におけるすべてのユーザーを、業務が行われる場所を問わず確実に保護します。

FireCloud Total Access では、ウォッチガードの業界をリードするネットワークセキュリティソリューションである Firebox が先駆けて実現した保護機能を拡張して利用できます。Firebox は、オフィス、支社／支店、オンプレミスネットワークを保護するために不可欠です。FireCloud と Firebox を組み合わせることで、ハイブリッドネットワーク全体にわたるユーザー、アプリケーション、インフラを保護するために組織が必要とする包括的なセキュリティを提供します。

ウォッチガードのチーフプロダクトオフィサーである Andrew Young（アンドリュー・ヤング）は、次のように述べています。「リモートワークとハイブリッドネットワークは恒久的なものとなり、組織はあらゆる場所のユーザーを保護しつつ、ゼロトラストを適用するより簡素な方法を必要としています。FireCloud Total Access は、MSP や小規模 IT チームが数時間で導入し、WatchGuard Cloud から一貫したポリシーを適用し、従来のフルネットワークアクセス VPN をアプリケーション単位のアイデンティティベースのアクセスにリプレースすることを可能にします。」

### FireCloud Total Access の主な機能

1. **ゼロトラストネットワークアクセス（ZTNA）**：このセキュリティモデルは、プライベートアプリへのセッション単位で、アイデンティティとデバイスを認識したアクセスを提供し、ネットワークへの必要なユーザーアクセスのみを許可するリモートユーザー VPN のリプレースとして機能します。
2. **AI を活用したサービスとしてのファイアウォール（FWaaS）**：APT Blocker とゲートウェイアンチウイルスにおける AI を活用した検知により、ネットワーク外のユーザー向けの侵入防止、DNS セキュリティ、サンドボックス化、そしてポリシー適用を可能にし、高度な脅威をリアルタイムで阻止します。
3. **セキュア Web ゲートウェイ（SWG）**：TLS インスペクションを通じて、URL フィルタリング、アプリケーション制御、シャドールーティングを提供します。FireCloud Total Access は、クラウド環境における証明書の発行と検証を簡素化し、運用コストを増大させることなく、フィッシングやマルウェア、危険なサイト訪問などの対策として、暗号化トラフィックの徹底的な検査を実施します。
4. **エコシステム連携**：FireCloud Total Access は、AuthPoint（R）（MFA/SSO）、ThreatSync（TM）（XDR）、およびウォッチガードのエンドポイントセキュリティと連携し、WatchGuard Cloud を通じて管理されるアイデンティティ、エンドポイント、ネットワーク全体にゼロトラストを適用します。

ウォッチガードパートナーである Ember One のプリンシパルエンジニア、Alex Dumas（アレックス・デュマ）氏は、以下のようにコメントしています。「お客様はツールの削減、摩擦の低減、そしてより良い成果を求めています。FireCloud Total Access により、

テナント全体で Web の保護とプライベートアプリへのアクセスを標準化し、単一のポータルを活用して、管理費を増やすことなく定期的なサービスを拡張することができます。」

### **MSP や SME 向けに構築 : FireCloud Total Access の特長**

1. **数週間ではなく数時間で導入** : FireCloud Total Access はハードウェアや複雑な VPN 設定を必要としません。本ソリューションでは、ポリシーと保護機能が WatchGuard Cloud を通じて即座に適用され、迅速かつスケーラブルな展開を実現します。
2. **運用負荷の軽減** : MSP および IT チームは、マルチテナント管理、ポリシー継承、および標準装備のレポート機能を利用できます。
3. **最適化されたパッケージング** : 本ソリューションのユーザー単位のライセンスは、パートナーの継続的収益モデルに適合し、手頃な価格とエンタープライズグレードの効果を両立させるカスタマイズされたアプローチを実現します。
4. **強力な単一プラットフォーム** : FireCloud Total Access は、ウォッチガードの広範なネットワーク、エンドポイント、アイデンティティサービスとシームレスに統合されます。これらすべては、AI を搭載した XDR エンジンである ThreatSync を通じて接続され、IT チームの負担を軽減しながら、よりスマートな検知と迅速なレスポンスを実現します。
5. **適正規模のゼロトラスト** : FireCloud Total Access は、コストや複雑さを伴わずにエンタープライズグレードの機能を提供します。

**FireCloud Total Access** は、**2025 年 9 月 25 日**より、世界 20 カ国以上で再販およびマネージドサービスを提供する約 17,000 社の MSP から成るウォッチガードの強力なネットワークを通じて利用可能となります。パートナーは、WatchGuard Cloud および WatchGuard Partner Portal からセルフサービスのトライアルにアクセスし、導入支援資料や製品デモを入手できます。

### **「Real Security for the Real World」グローバルロードショー : ゼロトラストネットワーク版**

グローバルの MSP コミュニティを支援する一環として、ウォッチガードは継続的なトレーニングとイネーブルメントサービスを提供しています。毎年、ウォッチガードチームが各地を巡回し、数千のパートナー企業を対象にハンズオンワークショップを開催しており、セキュリティサービスの立ち上げ、改善、そして進化を支援しています。今秋は、あらゆる場所の従業員を保護し、AI を駆使した攻撃者から防御する手法といった、最新のセキュリティユースケースにフォーカスします。詳細と各国の開催地への招待状のリクエストは、ウォッチガードのロードショーページをご覧ください。

### **サイバーセキュリティエクセレンス（卓越性）における 30 年の実績**

ウォッチガードは 30 年近くにわたり、エンタープライズグレードのセキュリティを簡素化するという取り組みを推進し、業界アナリストから評価され、また、独立した性能テストで実証されており、世界中の業界関係者や顧客から称賛されてきました。各受賞は、MSP や企業が日々ウォッチガードに寄せている信頼を反映しています。最近では、グローバル市場調査／コンサルティング企業である IDC が、ウォッチガードを「IDC Worldwide Enterprise Hybrid Firewall 2025 Vendor Assessment（ベンダー評価）」における主要プレイヤーとして認定しました。

今回のニュースは、ウォッチガードが最近発表した、新たなファイアウォールアプライアンスの新製品群「Firebox テーブルトップシリーズ」、「Total MDR サービス」、そして数々の業界の表彰に続くものです。ウォッチガードの AuthPoint MFA 製品は、2025 年に SC Media より「Best Authentication Technology（最優秀認証テクノロジー）」に選出され、「Canalys Cybersecurity Leadership Matrix」では 3 年連続で「チャンピオン」に認定されました。これに先立ち、「2025 Cyber Defense Awards」では、WatchGuard MDR が最も有望なマネージド検知／レスポンス（MDR）ソリューションに選出され、

同社のゼロトラストアプリケーションサービスは、今年の「Editor's Choice Zero Trust（編集者が選ぶゼロトラスト）」部門で受賞製品に選ばれました。ウォッチガードは、今後もセキュリティイノベーションで業界をリードし続け、MSP 向けに収益拡大を促進する、よりスケーラブルで即時販売可能なソリューションを提供していきます。

\*本資料は、本社が発表したプレスリリースの翻訳版です。

#### 【WatchGuard Technologies について】

WatchGuard (R) Technologies, Inc.は、統合型サイバーセキュリティにおけるグローバルリーダーです。ウォッチガードの Unified Security Platform (R)（統合型セキュリティプラットフォーム）は、マネージドサービスプロバイダー向けに独自に設計されており、世界トップクラスのセキュリティを提供することで、ビジネスのスケールとスピード、および運用効率の向上に貢献しています。17,000 社を超えるセキュリティのリセラーやサービスプロバイダーと提携しており、25 万社以上の顧客を保護しています。ウォッチガードの実績豊富な製品とサービスは、ネットワークセキュリティとインテリジェンス、高度なエンドポイント保護、多要素認証、セキュア Wi-Fi で構成されています。これらの製品では、包括的なセキュリティ、ナレッジの共有、明快さと制御、運用の整合性、自動化という、セキュリティプラットフォームに不可欠な 5 つの要素を提供しています。同社はワシントン州シアトルに本社を置き、北米、欧州、アジア太平洋地域、ラテンアメリカにオフィスを構えています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供しています。詳細は <https://www.watchguard.co.jp> をご覧下さい。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X（@WatchGuardJapan）、Facebook（@WatchGuard.jp）、をフォローして下さい。

X : <https://twitter.com/WatchGuardJapan>

Facebook : <https://www.facebook.com/watchguard.jp>

また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

#### 【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : [jpnsales@watchguard.com](mailto:jpnsales@watchguard.com)

URL : <https://www.watchguard.co.jp>